

令和7年度 学校評価報告書

長崎市立小ヶ倉中学校

1 教育目標

心豊かで、自ら考え行動できる生徒の育成 【校訓】○自主 ○勤労 ○敬愛
--

2 学校経営方針

努力夢現 ～努力を続け、夢や目標が実現・達成できる学校～

3 重点目標

(1) 学力向上、キャリア教育の推進 (2) 生徒指導・教育相談の充実 (3) 健康・安全教育の推進 (4) 教育環境の整備 (5) 開かれた学校づくりの推進 (6) 働き方改革に向けた職場づくり

4 自己評価	今年度7月と12月の数値	※ 黄色は8割以下
--------	--------------	-----------

領域	項 目	質 問 内 容	アンケート結果(R.7.7)			アンケート結果(R7.12)			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			(肯定的割合・%)			
			児 童 生 徒	保護者	教職員	児 童 生 徒	保護者	教職員	
学校経営	教 育 目 標	「心豊かで、自ら考え行動できる生徒の育成」の学校教育目標達成に向け、よく努力している。	90	89	100	97	88	100	学校経営に関しては、学校目標を掲げ日々行っている教育活動に肯定的な意見が多く、すべての項目において80%を超えている。教職員が適所で全力を尽くし、責任を果たした結果だと言える。7月に教職員が80%に満たなかった教育活動への満足感においても、各学年が特色を出して積極的に教育活動に取り組んだ結果、19ポイント上昇した。一方、学校の雰囲気に関する数値は全体的に下がっていたため、年間の活動を振り返ることでその要因を探し手立てを講じていく必要がある。
	学 校 の 雰 囲 気	全体的に活気があり、明るく楽しい雰囲気である。	98	91	100	97	95	94	
	愛 校 心	本校が取り組んでいる教育活動に、満足している。	94	87	75	97	86	94	
	組 織 運 営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			83			94	
	業 務 の 改 善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			83			94	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを理解し、行動している。	94	79	100	99	92	83	7月では保護者の評価が低かった「生徒指導」において大きな上昇が見られた。ルールを遵守した落ち着いた学校生活の中で、相手に伝わるあいさつが身に付き始めたといえる。さらに、特別支援教育の視点から個々の支援を肯定的に捉えている保護者の数値が上がっているのは、教職員の日々の努力の成果であるといえる。「心の教育」においてはすべての項目で80%以上を達成することができた。今後も生徒指導に対する協力体制を整え、個々の支援に力を入れ、学年や教科で系統性をもった平和教育や人権教育を行っていきたい。
		あいさつをよくしている。	91	66	83	91	82	83	
		自分で考え、足りないところや失敗もするけれど、前向きに頑張って行動している。	87	81	92	96	92	94	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している。	89	83	92	95	83	100	
	いじめ防止対策	いじめ防止やいじめ根絶のためのアンケートや教育相談、指導をしている。	94	91	83	96	88	94	
	人 権 教 育	「生命や人権を尊重する心」を育てている。	98	91	100	99	88	100	
	平 和 教 育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている。	93	91	92	95	93	89	
	特 別 支 援 教 育	生徒一人一人の様子や事情に応じて、指導したり、対応したりしている。	91	77	92	98	82	100	
確かな学	特 色 あ る 学 校 づ く り	地域と協力し、伝統・校風を大切にした教育を行っている。	93	93	75	98	89	83	学力向上は本校の大きな課題となっており、学校評価の結果はそれを如実に表すものとなった。家庭学習や読書活動においては、三者とも肯定的な回答が低く、早急な改善を要する状況であるといえる。 学力向上プランの共通理解のもとに、教職員の授業改善に向けた意識を高め、各教科で具体策を講じるとともに、わかる授業を確実に実践していくことが求められる。授業の中でもたらされた達成感から生
	学 習 指 導 ・ 教 育 課 程	わかりやすく、ためになる授業づくりに努めている。	96	81	100	95	81	100	
		自主的に、意欲的に授業に取り組んでいる。	87	70	100	96	72	100	
		自分に必要な学習を自覚し、粘り強く、計画的に取り組んでいる(塾等での学習を含む)	77	55	83	84	63	67	
		学校の授業以外で2時間以上学習している(タブレット学習、塾等での学習、学校での学習を含む)	58	21	50	67	42	44	

学力	読書	読書に親しんでいる（webや絵本、図鑑等を含む）	65	26	100	58	40	72	徒たちの学習意欲を高めた上で、目的意識を持った自主的な家庭学習を確立していくことができる。さらに読書活動においては、図書館教育に力を入れている現状から、もっと外への情報発信を行い、週に1回の朝の読書活動を大切にする風潮を学校全体で根付かせていく必要がある。
	GIGA	私がクロムブックを活用し、学習に意欲的に取り組む意欲が高まっている。	84	74	92	85	90	83	
	キャリア教育	将来の進路や職業についてよく指導している。	79	70	83	89	78	94	
		長崎の文化や歴史を誇りに思い、ふるさとが好きである。	91	68	83	97	76	89	
健やかな体	保健・衛生	病気やけがの予防に努め、健康・安全に関する教育を行っている。	96	85	92	99	90	100	全体的に評価が高い。病気やけがの予防、学校行事や部活動への取り組み、食育などにおいては、日々の支援や定期的な対策が充実した活動につながっていると思われる。インフルエンザでの学年閉鎖はあったが、長く続くことはなく、感染拡大には至らなかった。
	体力向上	自分のスケジュールや健康を自分で管理し、遅刻や欠席をしないで登校している。	82	85	92	88	86	94	
		学校行事や体育的活動、部活動に意欲的に取り組んでいる。	89	93	92	94	87	94	
		登下校の歩行運動も含め、30分以上の運動をして体力向上に努めている。	87	87	92	86	83	89	
	食育	食に関する（給食指導を含む）教育活動を行っている。	92	87	92	99	94	89	
信頼される学校	安全管理	施設等が壊れていない、壊れても修理するなど生徒の安全に気を配っている。	86	94	83	91	90	100	月1回の安全点検日を設け、安全衛生委員会を定期的に行うことで学校の安全管理に努めている。その結果安全管理に関する項目はすべて80%以上であった。また、PTAや地域との連携は高い評価を得ており、効率化を目指した改革等が功を奏している。 情報発信には課題が残る。学校通信や学年通信を月1回発行し、必要に応じて一斉メール配信をしている。さらにホームページの更新を定期的に行い情報を発信していくこととする。
		安全に関する教育を行っている。	93	91	100	99	94	100	
		安全に気を付けて生活している。	96	93	92	98	95	89	
	情報提供	各種通信やホームページ、一斉メール等でよく情報を発信している。	81	83	83	83	77	100	
	PTA・地域との連携	学校と家庭・地域は、よくコミュニケーションをとり連携している。	89	87	92	95	85	100	
教育環境	職員資質向上	校内研修が遂行されたり、教職員間の情報提供等で職員の資質が向上している。			100			89	老朽化が進み、多くの修繕を必要とする現状はあるが、環境整備が行き届き、学習しやすい環境だと感じている生徒や保護者が多く、全体的に評価が高い。働き方改革も浸透し、様々なアイデアが出され現状を変えていこうとする動きの中で、働きやすい職場づくりにつながっている。今後も継続的な活動を通して改善に努めていきたい。
		校内研修が遂行されたり、教職員間の情報提供等で職員の資質が向上している。			100			89	
	環境整備	校内がきれいに保たれ、学習しやすい雰囲気や学校設備や道具は整備されている。	89	96	100	97	89	100	
教育環境	職場環境	働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる。			92			94	
		働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる。			92			94	

5 評価のまとめ（成果・課題・対策など）

1回目の学校評価は保護者の回答率が約30%だったが、2回目は約60%に上昇した。学校経営に関してはどの項目も高い評価を得ている。組織運営や業務改善に関する教職員の評価が高く、働きやすい環境づくりで成果が見られる。2回の学校評価を通して、本校の大きな課題は「学力向上」と「情報発信」ということが顕著に表れる結果となった。「学校の授業以外で2時間以上学習している」という質問に対する肯定的な意見は、第1回が43%、第2回が51%と上昇したが、他の項目と比べると極端に低いことがわかる。また、「情報発信」の項目では「学校は各種通信やホームページ、一斉メール等でよく情報を発信している」は第1回が82%、第2回が87%と若干ポイントは上がったものの、まだまだ改善が必要だということがわかる。きちんと情報が伝わるような情報提供の仕方を工夫していきたい。

全体的に肯定的な意見の割合が上昇していたので、今後も継続的かつ効果的な対策を講じていきたい。また、文章記述においていただいた貴重なご意見を踏まえ、さらによりよい学校を目指し、改善を図っていく。

6 学校関係者評価

学校評議員会を開き、学校評議員の方々から学校や学校評価に関するご意見をいただいた。

- 地域での中学生の様子から、あいさつがきちんとでき誠実な様子がうかがえる。
- 中学生が危険な行為をする小学生に声をかけ、厳しく指導している姿を見ると頼もしい。
- 情報発信に関しては、学校だよりなどを地域に配るのも一つの手手段だが、画像などは個人情報の面から取り扱いに注意する必要がある。
- 簡単な情報を公開するだけでも良いのではないか。
- 中学生の地域の行事への参加を期待する。中学生にも地域を盛り上げてほしい。

7 対策などの見直し（学校関係者評価を受けて）

- 学力向上を目指し、本年度作成した「学力向上プラン」に基づいて、各教科でポイントを絞り、授業改善を図る。
- 家庭学習においては、教科の特性や進捗状況を踏まえて、ICTなど取り組みやすい方法を用いて課題を提示する。
- 情報発信に関しては、ホームページの内容の充実を図り、計画的に更新していく。
- 地域への情報発信は、ホームページの周知を図ったり、公の場に生徒の作品を展示したり、地域の情報誌とコラボレーションするなど工夫していきたい。